

確認問題 08

(1) 学校の時間割にみられる「アセンブリラインとしての時間」の特徴を 3 つ挙げよ。

・
・
・

(2) 次の勝田守一の「実践記録をどう評価するか」に関する文章の空欄を埋めよ。

そこでは、第 1 には、「実践記録」とは教師の生活綴方、生活記録であり、() を中核にして、そこにぶつかる問題や矛盾やそれへの() の営みをすべて含み、さらに人間としての教師の() を反映するものでなくてはならないとした。第 2 に、その表現形態としては、記録であるかぎり、「強調と()」があり、それゆえの「()」をもつ。しかし、それは文学ではなく実践の() の記録であり、より本質的には「実践記録」は主体的感性的な認識を() に抽象化するものではなく、() することを通して真実を語ろうとするものであると指摘した。そして、第 3 には、仲間の中かで「実践記録」から() の値打ちが掘り起こされ、共有() (一般化) となることがめざされる、とした。

(3) 全員参加の授業 5 原則について、簡潔に説明せよ。

(4) 「最近接発達領域」「学校スタイルとしてのオープンスクール」「(教育的) 鑑識眼」のうち 1 つについて簡潔に説明せよ。

**) 確認問題 02 を自己評価し、
気づいたこと、感じたことをのべよ

■ 5 段階自己評価 ()

■